令和８年７月吉日

一般社団法人 日本実験動物技術者協会・京都市動物園共催ワークショップ

「動物園と実験動物施設をつなぐ　環境エンリッチメントの実践講習会」

協賛趣意書

拝啓

貴社におかれましては、ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、一般社団法人 日本実験動物技術者協会（以下、実技協）は、京都市動物園と共催し、ワークショップ『動物園と実験動物施設をつなぐ　環境エンリッチメントの実践講習会』を、2026 年 8 月 21 日から 22 日までの 2 日間、京都市動物園において開催する運びとなりました。

1. 開催の経緯

実技協は、実験動物科学の一翼を担う実験動物技術者の全国的な組織です。実験動物福祉の向上、動物実験の適正化、技術の発展をめざして活動しています。昨今では、外部団体との連携や異分野との交流を通じて視野を広げ、より実践的で応用力のある技術者育成を重要な柱として位置づけています。その一環として、動物園との協働によるワークショップを企画し、実践的な学びの場を提供する運びとなりました。

2. 京都市動物園の特徴と共催の意義

京都市動物園は、動物福祉に根ざした飼育・獣医管理の実践で国内外から高く評価されている施設です。特に、福祉評価に基づく飼育環境の改善、研究施設としての発信などの先端的な取り組みは、全国の動物園・水族館のみならず、実験動物分野からも注目されています。

今回の共催は、動物園と実験動物施設という異なる現場が互いの知見を持ち寄り、動物福祉の向上に向けた実践的な学びを共有する貴重な機会となります。両分野に共通する課題や視点を整理し、相互理解を深めることで、より良い飼育環境づくりに向けた新たなアプローチを生み出すことが期待されます。

3. 開催趣旨

本講習会は、動物福祉の向上と専門職の知識・技術の発展を目的として、動物園と実験動物分野が連携して実施する実践的なワークショップです。分野の異なる現場で培われた視点や工夫を共有し、環境エンリッチメントについて理解を深めるとともに、日常の飼育管理や環境改善を見直す契機となることを目指します。

4. 講習内容

本講習会では、ウサギ・モルモット・サル類を対象に、小型哺乳類から霊長類まで共通する環境エンリッチメントの実践プロセスを学びます。対象種の違いを通じて、マウ

ス・ラットを含む多様な実験動物の飼育環境を見直し、改善を進めるうえでも参考となる視点や工夫、評価の考え方を習得します。

環境エンリッチメントの一連の過程として、動物種の理解、動物の状態や施設からの課題の抽出、改善計画の立案、エンリッチメントの製作、導入や設置、行動観察、評価と再調整、を実践的に体験します。あわせて、動物園および実験動物施設における実践例や工夫も紹介し、双方の現場で活かせる知見を共有する場とします。

なお、講習会の運営にあたり別紙のとおり収支予算案を作成しております。つきましては、本講習会の趣旨にご賛同のうえ、ご協賛を賜り、円滑かつ有意義な開催に向けてお力添えをいただけますようお願い申し上げます。

敬具

【担当者および関係者】

役職・担当	氏名	所属
理事長	中野 洋子	日本獣医生命科学大学
人材育成・教育研修部長	橋本 直子	京都大学ヒト行動進化研究所
人材育成・教育研修部	渡邊 利彦	中外製薬株式会社
人材育成・教育研修部	安野 航	岩手医科大学医歯薬総合研究所
人材育成・教育研修部	若松 真矢	株式会社新日本科学
人材育成・教育研修部	石原 すみれ	岡山大学
人材育成・教育研修部	大羽 沙弥佳	株式会社日本クレア
人材育成・教育研修部	山岸 義尚	株式会社夏目製作所
関西支部長	三上 崇徳	川崎医科大学
関西支部	役員	

【収支予算案】

収入

項目	詳細	単価	数量	金額	備考
参加費	現地	4,000	30	120,000	※入園料含
	オンライン（会員他）	1,500	40	60,000	
	オンライン（非会員他）	2,000	10	20,000	
	オンライン（学生）	1,000	10	10,000	
	現地スタッフ分	0	10	0	
協賛金	協賛金（1口1万円）	10,000	2	20,000	
本部予算		55,000	1	55,000	
			収入計	**285,000**	

支出

項目	詳細	単価	数量	金額	備考
講師関連	講師関連（謝金、旅費、懇親会費）	32,274	1	32,274	
印刷費		3,000	1	3,000	
会場費	入園料、会場設営費等	57,000	1	57,000	
運営協力費		100,000	1	100,000	
資材費		87,726	1	87,726	
雑費		5,000	1	5,000	
			支出計	**285,000**	